

図書館とともだち

図書館とともだち・鎌倉 おしらせ No. 224

2024・3・27

散るを急ぎ桜に着んと

縫ふ小袖

—漱石—

もうすぐ四月。

街が桜色に染まる季節が

今年もやってきました。

段葛の並木は

例年より開花がゆっくりのよう。

新一年生が通る頃には

満開のアーチで

お祝いしてくれるでしょうか。

○ CONTENTS ○

	PAGE
☆ 永野征男先生による「御成小学校地の埋蔵文化財」についての講演を聴いて 片瀬永津子	…1
☆ 速報！旧鎌倉図書館が国の登録有形文化財になりました！	…2
☆ 中学生とおはなし会／銀幕情報	…3
☆ 「これからの鎌倉の図書館にのぞむ市民の提言」参考資料について	…4
☆ 図書館協議会傍聴報告	…5
☆ ファンタスティック☆ライブラリー112 報告／実行委員会報告	…6
☆ 松坡先生をめぐる人々 17 袴田潤一	…8
☆ 公開講座(大阪府子ども文庫連絡会主催)の講演を終えて	…9
☆ 総会報告／NPO フェスティバル報告／西鎌倉ぼっけおはなし会報告	…10
☆ ボラ協報告／協働部会報告／活動日誌	…11
☆ 事務局から	…12



1月28日、日本大学名誉教授の永野征男先生を講師にお迎えして講演会を開きました。

テーマは、「御成小校地の埋蔵文化財：茅ヶ崎北陵高校々地との対比を通して」。

緊急企画にもかかわらず予想をはるかに上回る参加者で会場は満員となり、一同スクリーンに映しだされる画像を凝視しつつお話に聴き入りました。参加者のお一人から感想を寄せて頂きましたのでご紹介します。

永野征男先生による「御成小学校地の埋蔵文化財」についての講演を聴いて

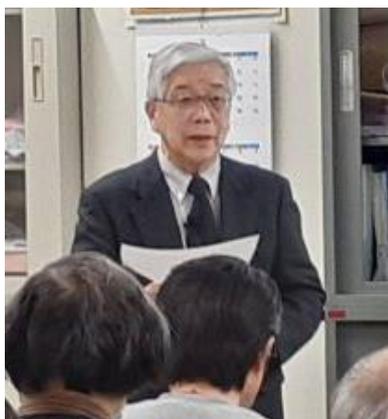
(1月28日 於：鎌倉市福祉センター)

片瀬 永津子

今日、私は大変な事実を知った。

松の緑と歴史が醸し出す風格ある御成小学校。ここは26年前に改築の際、校庭が発掘され、800年以上前の鎌倉時代の高級武家屋敷、更とその下層に、何と天平時代(733年)に存在した郡衙の柱穴や、この年号が墨筆された木簡が発見されていた、という。その遺構の価値の高さは、中世遺構については「日本史上の定説を再考させる全国稀なる遺跡」、下層の郡衙については「全国で発見された60箇所の中でもトップクラス」と専門家に公に評され、国指定されても不思議が無いレベルで、全国の建築・歴史研究者から保存陳情が出されたほど貴重だそうである。

1300年前の遺跡が幸運にも破壊されず、よくぞ偶然にも目の前に姿を現わしてくれた、これこそ鎌倉のみならず日本の極めて重要な「日本の遺産」である。「文化歴史都市」を標榜する鎌倉には「昔のストーリーしか無い」のではなく、立派な現物が姿を現わしたのは、まさに天の恵みであり、このことに私は大きな感動を感じる。



講師：永野征男氏

司馬遼太郎は『街道をゆく』の中で「我々には可視化できる過去がある。それは遺跡によって見るができる」と、リアルに遺構を見ることの貴重さを語っている。古代ローマ遺構が保存公開され、世界中から見学者が訪れることを見てもよく分かる。前述の御成小の遺構は、現在埋め戻され、誰も見ることもなく、ほとんどの人は存在すら知らず、地中に忘れ去られた存在になりかけているが、これを今後どの様に扱うかは、市民の文化への理解度と鎌倉市の見識次第である。調査“記録”を克明に取るのは勿論だが、“現物”そのものの保存は何物にも替え難い。これが保存公開されることで、世界中の人がローマ同様、納得感をもって「日本遺産のまち」鎌倉を見に来るのではないかな。

子ども達も、日常生活の中でこれらを目にしながら暮らすことで、鎌倉のこの地に長く続く歴史文化の上に、今の自分が在ると実感するだろう。郷土鎌倉への誇りや愛着が湧き、ひいては自尊心や他者への思いやりも育まれよう。

鎌倉は埋蔵遺跡の多くが、発掘後は記録されたのち破壊されているようだが、遺跡は、土地所有者が金銭的理由などでどう扱ってもよい物ではなく、「公の財産」と見なすべきである。ローマ時代のポンペイの遺構を、記録すれば破壊してよいと言えないのと同様である。御成小学校の「鎌倉郡衙」を破壊しないよう、20年も辛抱強く運動された市民の方々に改めて尊敬の念を抱く。そしてバトンを渡され継いでゆく私たち市民と市行政も、目の前の50年ではなく1000年・2000年スパンで文化財保護を考えなくてはいけない。世界遺産の登録が認められなかった理由が「幕府の所在地が、不明である。」であったことをよく噛み締め、特に「埋蔵文化財包蔵台帳」に載っている未発掘調査の土地については、建築計画を慎重に精査するのは当然のこととして、遺構は現物保存する事を原則とすべきと考える。



速報！旧鎌倉図書館が国の登録有形文化財になりました！



「放課後かまくらっ子おなり」として再出発の式典当日の旧鎌倉図書館（2023.3.21）

御成小学校に隣接する旧鎌倉図書館(昭和11年建造/令和5年改修)が、国の登録有形文化財(建造物)として登録されることとなりました。(令和6年(2024年)3月15日(金)開催の文化庁文化審議会文化財分科会において答申)

旧鎌倉図書館に関しては、私たちTOTOMOが、多くの方々や団体、メディアのお力添えをいただきながら署名活動や募金活動などによって保存を強く市に要望し保存が決定となった経緯を持つもので、鎌倉の近代史を象徴する建物として、文化遺産登録されることを長く切望していました。

此度、文化財として登録されたことを嬉しく思うと共に、今後のメンテナンス計画や保存部材(三層書庫への階段や床板、組立式書架など)の適切な管理がされるよう注視し、市の管理体制の充実に期待するところです。

このニュースは、鎌倉市HPにも掲載されています。

鎌倉市/国の登録有形文化財(建造物)に係る答申について (city.kamakura.kanagawa.jp)

☆保存運動に関する詳しい経緯は、『図書館とともだち・鎌倉20周年記念誌』『旧鎌倉図書館の保存と活用を考えるシンポジウム』ファイル『旧鎌倉図書館と私(その1~その3)』『旧鎌倉図書館現況調査報告書』などの資料をご覧ください。(これらの資料は鎌倉市図書館で閲覧あるいは貸出できます。)

中学生とおはなし会

(鎌倉市立第二小学校・第二中学校)

3月4日(月)、鎌倉市立第二小学校に同第二中学校3年生全員が訪れ、小学1年生の子どもたちとの交流会を行いました。絵本の読み聞かせを中心にゲームやクイズを取り混ぜ、最後は外遊びで盛り上がった2時間でした。

遡ること4か月。昨年11月16日に、おはなしひこうせんメンバー5人が二中を訪問し、おはなし講座を行いました。卒業を前にした中3生たちが幼い子どもたちと交流する機会を作りたい、と考えた先生方から、おはなし会について教えてもらえないだろうか、とご依頼を受けてのことです。おはなしひこうせんはこれまでに、高校生を対象として同様の講座を何度も経験していますが中学生は初めてです。まずは楽しんでもらいたい、という気持ちで向かいました。

前半は科学絵本、お話の絵本、手遊び、大型絵本、紙芝居からなるプログラム。「小さい子どもになった気分で」などと注文を付けなくても、笑ったり思わず息を呑んだり、ほとんどの生徒たちが楽しんでくれているのを感じました。もちろん、手遊びもちゃんと一緒にやってくれました。

後半は絵本の選び方、持ち方、ページの見せ方、読み方などのポイントを話し、参考になる本も紹介しました。生徒からは「途中で前に出てきてしまう子やおしゃべりしてしまう子がいたらどうするんですか？」などの具体的な質問も出されました。

休み時間に廊下に出ると、3~4人の男子が笑いながらリズムに乗って身体を動かしています。よく見聞きしてみると、手遊び♪さよならあんころもち~♪をラップで表現していたのです。こんな風に自分たちなりの受け止め方ができるのか、と感激しました。

そして今年3月4日、冒頭の交流会開催となりました。生徒たちの練習と工夫の成果を見に来てください、とお誘いをいただき、他のメンバーや地域の支援員の方々と一緒に見学に行きました。小学生3人と中学生3人ぐらいの小さなグループに分け、複数の会場を使います。どの会場を覗いても子どもたちは皆、とても楽しそうです。

読んでいる絵本は図書館で借りたものだけでなく、中学生が自宅から持ってきたものもありました。初めて見る絵本もありましたがとても面白く、参考になりました。そして一心に聞き入る子どもたちの姿があちこちで見られました。ちょっと長い幼年童話にも挑戦していました。熱心に聞く子がいる一方、やはりじっとしてられない子もいます。すると同じグループの中学生と一緒に聞こう、と声をかけて寄り添うと、その子も落ち着いたようでした。子どもたちはお兄さんお姉さんが大好きなんですね。

たった一度の講座でしたがその成果も見せていただけて、うれしい一日でした。

(黒瀬)



終わりの手遊び「さよならあんころもち」

かまくら銀幕上映会のお知らせ(主催:ドリーム・アーツ(03-5969-8081)於:鎌倉芸術館小ホール

4/8(月)『ルー、パリで生まれた猫』 4/25(木)『ダンサーイン Paris』

5/9(木)『エリック・クラプトン/アクロス 24 ナイツ』 5/27(月)『私がやりました』

◎前売り券:1000円(当日券:1300円)*受付で「田邊さんから聞いた」と仰っていただければ前売り料金でご覧いただけます。

◎上映時間①11:00~ ②14:00~ ☆上映スケジュールの確認は、鎌倉芸術館(0467-48-5500)へお問い合わせください

「これからの鎌倉の図書館にのぞむ市民の提言」 参考資料の続編を作成しました

鎌倉市では、令和6年1月17日から2月15日まで、「鎌倉市市庁舎現在地利活用基本計画（素案）」に対する意見公募（パブリックコメント）が実施されました。その後、3月13日の第17回本庁舎等整備委員会において、パブリックコメントへの市の考え方が「整理表」（資料2）として配布されましたのでお知らせします、370件にのぼる意見が寄せられており沢山の気づきがありました。次のサイトで読むことが出来ます。

<https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/chousya-seibi/documents/17shiryoku2.pdf>

当会は、昨年11月と12月に二つの自治体の「中央図書館」を見学し、前号（No.223）で報告しました。見学先は「多摩市立中央図書館」と「荒川区ゆいの森図書館」です。実際に見聞した学びや体験は、多少なりとも先のパブリックコメントに活かされたのではないかと思います。

今回は、限られた紙数のために前号では十分にお伝えできなかった内容や、その後に行った調査などをふまえ、表としてまとめてみました。一部調査中のところもありますが、ユニバーサルデザインへの取り組みや施工費の内訳、活用した市区債や交付金の種類、階層別に示される「融合」の在り方など、参考になる事案が多くありました。参考のために鎌倉の現状も添えましたのでぜひご覧ください。（添付資料）

いずれの図書館もホームページに多数の画像が掲載されています。教育基本法、社会教育法に則る図書館の理念がどのように具現化されているか？アクセスすると具体的なイメージがふくらんできます。

[多摩市立中央図書館 - 多摩市立図書館 \(library.tama.tokyo.jp\)](http://library.tama.tokyo.jp)

[中央図書館が開館しました！ | 多摩市公式ホームページ \(tama.lg.jp\)](http://tama.lg.jp)

[ゆいの森あらかわトップページ - ゆいの森あらかわ \(city.arakawa.tokyo.jp\)](http://city.arakawa.tokyo.jp)

[ゆいの森あらかわ PR 映像 \(youtube.com\)](https://www.youtube.com)

いつでも、だれでも、無料で利用できる街の公立図書館は、老若男女すべての市民の生涯にわたる学びを支え、歴史の継承や文化の醸成に尽くし、地域の情報拠点として市民の生活を護り、暮らしを彩る最も大切な公共施設の一つです。

当会は、予定されている新庁舎と現在地利活用庁舎建設にあたり、これからも一人でも多くの皆さんと一緒に学び、話し合い、必要に応じて意見を発していきたいと思えます。

皆さまのご感想やご意見、ご提案などを事務局まで寄せて頂けましたら幸いです。よろしく願い致します。
(阿曾)



【お詫びと訂正】

1月17日発行の会報223号p3「ゆいの森あらかわ中央図書館訪問記」記事の中で「図書館と学校図書室のやりとりは月3回行われている」とありましたが、「年3回程度」の誤りでした。訂正してお詫びいたします。

令和5年度第3回図書館協議会傍聴報告

令和6年2月29日(木) 14:00~15:30 中央図書館多目的室において図書館協議会を傍聴しました。協議会委員5名(内リモート参加1名)、傍聴者4名(市議2名、市民2名) 図書館職員8名

今回はマイクが使われていました。傍聴者への配慮にも感謝いたします。

(1) 報告事項

- ア 12月議会では、栗原議員より「中世資料館や郷土資料館の必要性について」、2月議会では、ネットワーク運動・鎌倉より「包括的性教育の推進について」、公明党鎌倉市議会議員団より「古代から現代に至る文化財が堪能できるデジタルミュージアム開設について」、銀河鎌倉より「郷土資料や中世史資料の収集・蓄積について」質問があり、答弁と共に報告されました。
- イ 1~3の資料に沿って、「鎌倉市図書館の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する」ことの説明がありました。図書資料の貸出点数が「10冊まで」から「無制限」に変更されたのを機に、施行規則を全面的に見直し、現状に沿って数か所改正されます。
- ウ 1~2の資料をもとに、「第4次鎌倉市図書館サービス計画」の年次評価に関する説明がありました。令和5年度の重点事業に対してA達成、B現状維持、C未達成で評価されています。協議会後にメール等で各委員からのコメントを収集するとのこと。
- エ 第4次鎌倉市子ども読書活動推進計画について
重点事業として次の4つに取り組んでいます(1)「読書バリアフリーへ取り組み」(2)「紙資料とデジタル資料によるハイブリッドな情報活動への取り組み」(3)「ヤングアダルトへの取り組み」(4)「子どもたちのニーズに対応できる施設・サービスの検討」
- オ 令和6年度(2024年度)の図書館休館日について
定期休館日58日、特別整理期間(蔵書点検等と図書館情報システム更新の為)の休館日は各図書館年間20日以内を予定しているとのこと。
- カ 令和6年度(2024年度)予算について
前年度より増となっており、資料費は一度減らされたが元に戻ったとのこと。図書館協議会は3回が4回に変更され、職員体制は変わりなしとのこと。
- キ 写真記録集「古都鎌倉へのまなざし」について
3000冊のうち販売対象は2700冊で、図書館や市役所行政資料コーナー、国宝館、歴史文化交流館で販売。市内書店をはじめ、一般流通でも販売をおこなっている。売り上げで制作費は賄えるとのこと。今後、電子書籍の出版も考えている由。

(2) 協議事項 図書館の施設整備について

パブコメ結果は次回に報告するとの説明を受けて、委員さんから「市庁舎現在地の利活用については、将来中心となる今の小中高生も参加して意見を述べる場があると良いのでは」との発言があり、図書館から「対象者にアンケートを取った。今後も意見をいただけるようにしたい。」との答弁がありました。また、中央図書館のモデルプランに関する質問には、「まだ確定していないので進めていく中で検討を深めていきます」とのこと。最後に、「今回の評価表のコメントと利活用の意見をいただきたい。必要に応じてご意見をいただきながら職員でも話し合いをして様々な問題を検討していきたい。」の館長の言葉をもって終了しました。(水岡)

(配布資料)

- ア 定例市議会における図書館関連質問について
- イー1 【第1条】図書館施工規則改正新旧対照表
- イー2 【第2条】図書館施工規則改正新旧対照表
- イー3 貸出点数制限撤廃アンケート結果
- ウー1 サービス計画年次評価表
- ウー2 令和5年度研修年間実績
- オ 令和6年度図書館休館日程
- カ 令和6年度図書館事業予算
- その他 ・第4次鎌倉市子ども読書活動推進計画について(報告)
・韓国の図書館写真

ファンタスティック☆ライブラリー・112 開催報告

2024年2月4日(日)、5日(月)に中央図書館に於いてファンタスティック☆ライブラリー・112(以下F☆L)が開催され無事閉幕しました。4日(日)は開館日でもあり、図書館利用者の邪魔にならないような展示や講演会を行いました。5日(月)は、初めて休館日を利用して行い、午後からは雪となる寒い日でした。5日来館者は165名。

かまくら女性史の会や松坡文庫研究会の展示・講演会、鎌倉女子大のおはなし会、ファンタスティック読書会、FAB×図書館では3Dものづくりの楽しめるワークショップも。さらに図書館のお宝展は見ごたえがありました。TOTOMOは「ととものおたから展」「おはなしひこうせんの展示とおはなし会」「間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会」で参加しました。

尚、各団体の展示はF☆L終了後5館の図書館で巡回されました(「ようこそTOTOMO図書館へ 世界のおはなしいろいろ」は玉縄・腰越両図書館で31日まで展示)。図書館のHPでもご覧になれます。(水岡)

「おはなしひこうせん」

「ようこそTOTOMO図書館へ 世界のおはなしいろいろ」報告

おはなしひこうせんでは、毎年恒例になっているテーマに合わせたパネルと絵本の展示、おはなし会、絵本でかるたを、2日間おはなしコーナーをお借りして行いました。パネル展示で参加メンバーそれぞれが取り組んだテーマは、「天使と妖精」「おひめさまとおうじさま」「結婚式」「おばあさんが主人公のはなし」「月と星」「三がつく動物のはなし」「花と木の物語」「海賊」「絵本からどんな音楽を感じますか」「エスニック・マイノリティ」。昨年の夏から、テーマを決め紹介する絵本を探して、パネルにも様々な工夫をして読みごたえがあるものになりました。(図書館のHPから展示したパネルを見ることができます)



おはなし会の次は、絵本でかるた!
(1Fおはなしコーナー)

当日はお天気に恵まれず、来館者は少なめでしたが、おはなし会や絵本でかるたに参加してくれたお子さんたちとは、充実した楽しい時間を過ごすことができました。2日間でおはなし会は4回行い、大人19名・子ども5名の参加、絵本でかるたも4回行い、大人10名・子ども7名の参加でした。

休館日を利用したことで声を出しても気兼ねなく、職員の方もおはなし会に参加して下さってよかったと思います。絵本でかるたは初めての試みでしたが、大人も子どもも一緒に楽しみました。反省点は、初めての会場で事前の準備が足りず絵本の展示の仕方に問題があったこと、鎌倉女子大の学生さんたちともっと交流をすればよかったことでした。(杉崎)

「間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会」

ファンタスティック☆ライブラリー112 に参加して・・・



「間島夫妻の寄贈本とゆかりの人々」展示
(3Fギャラリー)

図書館と本に寄せる間島夫妻の想いをどのように伝えたら良いか、寄贈された本の展示にとどまらず、鎌倉という町ならではの交友関係も併せて紹介したいと思いついたのが、「間島夫妻の寄贈本とゆかりの人々」というテーマ。ギャラリースペースでのパネル展示、間島弟彦の立派な肖像写真、貴重書の並べ方を工夫し、見学者に読んでいただけるようメンバーの個性で書き上げたキャプションボード・・・等々。2日目に開催された中田孝信氏の講演会と書庫・資料室見学には大雪警報発令中にもかかわらず15名もの方々がご参加くださいました。(鈴木)

ととものお宝、公開しました！

展示品（額装し、ガラスケースに展示）

- 1.小島寅雄さん／直筆カット4点
・会報「図書館とともだち」直筆題字と初掲載号
- 2.長野ヒデ子さん／おはなしひこうせんパンフレット表紙直筆タイトルとカット原画
・おはなしひこうせんパンフレット
- 3.飯野和好さん／旧図書館保存・活用を求める署名活動のために描いてくださった原画
・旧図書館保存・活用を求める署名活動の報告文と署名活動のために飯野和好さんが描いてくださった絵が掲載された会報 170号
- 4.アーサー・ピナードさん／「神奈川の図書館を考えるつどい」主催の講演の中で書かれた直筆メモ「GOD IS NOW HERE 神はここにおられる。」（GOD IS NO WHERE 神はどこにもいない、とも？）
- 5.ご寄贈著書：長野ヒデ子さん、飯野和好さん、ささめやゆきさん、西巻茅子さん、せなけいこさんから

図書館の応援団として走り続ける私たち TOTOMO は、発足以来、多くの方々のお力をお借りし、私たち自身もまたいろいろな形で応援していただきながら活動を続けてきました。みなさまからの暖かい励ましやご助言は、私たちの宝物です。そしてまた、「目に見える宝物」も、沢山いただいています。応援してくださるお気持ちと共に大切に保管している、原画や直筆の書、作者ご自身からご寄贈いただいた著書などです。今回その「お宝」を、この機会に多くの方にご覧いただければと考え、「ととものおたから展」を企画いたしました。

開催日は生憎の天候でしたが、元中央図書館長で鎌倉市長を務められた小島寅雄さんのお名前を懐かしみながら展示をご覧になる方、可愛い原画をゆ



「ととものおたから展」 (1F)

っくりご覧になる方々など、足を停めてくださる方が何人もいらっしゃいました。これをきっかけに、とともの存在やその活動に関心を持ってくださる方がお一人でも増えればと願うところです。 (齊木)

ファンタスティック☆ライブラリー・112 実行委員会 第4回第5回報告

(1月18日(木) / 3月7日(木) 於：中央図書館多目的室)

第4回はF☆L直前の1月18日(木)14:00～15:30に行われ、各団体の必要な備品やスケジュールの確認を行いました。参加者3団体4名と図書館員4名。

第5回は3月7日(木)14:00～15:30に行いました。参加者3団体4名と図書館員4名。

1. 全体の反省として

- ◎図書館でF☆Lが開催されていることを知らない人が多くいた。図書館に入っただけで開催場所がわかるような掲示板や矢印などがあると分かり易かった。◎団体同士の交流がもっとできると良かった。
- ◎広報については宣伝期間の長さ、御成小学校・子供の家などへの働きかけ等、来年度の課題である。
- ◎鎌倉女子大のおはなし会はオンラインと訪問で打ち合わせを行った。手話の発表の場もあり、学生さんからは勉強になったとの意見が寄せられた。
- ◎当日だけでなく、前日に準備作業を行えたことはとてもよかった。
- ◎今年度初めて休館日に開催したことの効果については悪天候の影響もあり判断が難しい。

2. ファンタスティック☆ライブラリー・113の開催について・・・候補は二つ。

- ①日程：令和6年(2024年)12月1日(日)～2日(月) 会場：中央図書館(12/1は館内一部使用)
- ②日程：令和6年(2024年)11月30日(土)～12月1日(日) 会場：深沢学習センター第6集会室

次回の実行委員会は4月18日(木)14:00～15:30の予定で、その時まで各団体の意見をまとめてくることになりました。TOTOMOからは阿曾(松坡文庫研究会兼務)、杉崎、水岡が参加しました。 (水岡)

松坡先生をめぐる人々 17 土岐横

松坡文庫研究会 代表 袴田潤一

阪正臣の喜寿の祝いの書画帖贈呈趣意書（田辺松坡稿 昭和6年）に名を連ねている鎌山同人の一人に土岐横（1860～1935）がいます。加賀前田家に仕える土岐無事の長男として生まれ、明治20（1887）年に東京帝国大学法学部を卒業すると、渋沢栄一の知遇を得て第一銀行入行、朝鮮支店長、商工会議所長を務めたのち、台湾銀行理事、第一銀行取締役などを歴任しました。11年にわたる朝鮮在勤中の明治30（1897）年には島田帰・荒浪平治郎らと日本弘道会釜山支会を設立し、朝鮮での学校経営と図書館経営に尽力しています。文化・教育に強い関心があったのでしょう。大正4（1915）年には平沼騏一郎・早川千吉郎らとともに無窮会を設立し、蔵書の寄贈もしています。加賀藩士子弟のための寄宿舎久徴館の創立者としても知られます。和歌・漢詩・絵画・能楽と幅広い関心を持ち、『心の花』に随筆や批評、『能楽畫報』に随筆を寄せ、著書に『日本の道義をしへ草』（1909）、翻訳にトーマス・ラレー『国家学要論』（1887）、マコーレー『経国龜鑑 一名・チャタム伯ウィリヤム・ピット伝』（1887）があります。



土岐横がいつ鎌倉扇ガ谷、寿福寺のすぐ南側に居を構えたのか、また、松坡先生との交友がいつどのようにして始まったのかは判然としませんが、鎌倉で松坡先

『巖帖』に寄せられた土岐横の墨画 生に漢詩を、大橋康邦に画を学んでいました。号は「象外」。『心の花』に文章が掲載されていることから和歌も学んでいたに違いありません。阪正臣との交友があったことは正臣の昭和2（1927）年の歌に明らかです。

一月十一日、鎌倉壽福寺のかたへなる土岐横の家へ招かれ、書畫會しけるまたの日ふみに、

雨の日のさむさもしらず高殿にゑかき文字かきくらしつるかな

しづかにて樂しかりけりおほてらのとなりのやどの仙人のいへ

「書畫會」「ゑかき文字かき」とありますので、正臣だけでなく書家・画家・漢詩人・歌人が参集した会だったと思います。しかも「一月十一日」という新年初めの会であってみればプロ・アマを問わず土岐横周辺の芸術愛好家が集まったのではないのでしょうか。松坡先生や大橋康邦、片野晃陽、住友寛一・きみこ夫妻、正臣の関係で言えば海上寿子、更に春田源之丞・時子夫妻などなど。詩、歌を詠み、書を認め、画を描く。まさに「墨涌き筆躍り」「雲煙龍蛇を捲き起こす」の趣きだったと思われます。想像するだけで楽しくなります。

土岐横は芸術の分野での豊かな人脈に加え、銀行家であったことによる人脈の故に鎌山同人の一人として名を連ねたのです。銀行家（実業家）としての人脈から春田源之丞の喜寿の祝の書画帖『巖帖』に妻のせんと共に作品を寄せています（横は蓑龜と巖を描いた墨画、せんは和歌）。

最後に余談。明治20（1887）年に石川県専門学校初等中学科を卒業後、紆余曲折を経て明治25（1892）年に東京帝国大学に入学した鈴木貞太郎が下宿したのが久徴館でした。貞太郎は後の大拙。もう一つ。明治34（1901）年竹久茂次郎という一人の青年が詩人を目指して家出しました。東京に出て最初の住まいは定かではありませんが、やがて、書生として落ち着いたのが土岐横の家だったそうです。茂次郎は後の夢二です。

《松坡文庫研究会から》

◆『菱花山館詩鈔』刊行のお知らせ◆

・田辺松坡の『菱花山館詩鈔』を刊行しました。松坡自身が30代後半までの自作を撰んだ浄書原稿を活字化したものです。A5版38ページ、採録作品は111首。非売品ですが、希望される方に頒布(有料)いたします。詳細は松坡文庫研究会(代表:袴田潤一)までお問い合わせ下さい。e-mail shohatanabe@gmail.com

◆講演会のお知らせ◆

松坡文庫研究会第8回講演会「大橋康邦と田邊松坡」を開催いたします

講師:袴田潤一氏(松坡文庫研究会 代表)

日時:4月14日 14:00~16:00

場所:中央図書館多目的室

問合せ、申し込みは中央図書館 0467-25-2611 まで



公開講座(大阪府子ども文庫連絡会主催)の講演を終えて

(2024年2月13日 於:大阪市立中央図書館)



「公共図書館の今」講演資料集

昨春、大阪府子ども文庫連絡会(以下大子連 だいこれん)に所属する図書館友の会全国連絡会の仲間から、鎌倉の図書館友の会活動について大子連で語ってほしい、との依頼を受けました。大子連は、「どの子にもよい本を、よい読書環境を」の願いのもと1976年に発足した市民団体です。大阪府教育委員会の後援を得て、大阪府立中央図書館や大阪市立中央図書館を会場に年間9回もの児童文化講座を開催し(うち2回公開講座)、大阪府図書館協議会に委員を派遣したり、府下のさまざまな図書館関連団体と連携するなど、長年にわたって力強い活動をされています。参考になるお話ができるかどうか不安でしたが、ご縁を頂きたくお申し出を受けることにしました。

ずいぶん先のこと、とのんびり構えていたらあっという間に時が過ぎ、大慌てで準備し、前日2月12日に大阪に向かいました。土地勘がないことを案じてホームで出迎えてくれた友人に大感謝。複雑な電車網を乗り換えまずは茨木市の地域図書館が入る「茨木市文化・子育て複合施設(愛称:おにクル)」に向かいました。大阪近辺で希望する図書館などあれば案内するから、との心遣いに甘えリクエストした公共施設の一つです。その後、当日の会場となる大阪市立中央図書館に移動し、下見も含めて見学させて頂きました。詳細は省きますが、昨年新築開館したばかりの「おにクル」と、昭和3年開館(平成8年リニューアル開館)の大阪市立中央図書館はあらゆる意味で好対照な図書館でした。

当日は午前講演を、午後は大子連の情報交流会に参加しました。予め送っていただいたレジュメや資料が「資料集」として一冊にまとめられていて感激しました!

たくさんの方の前でお話することはとても苦手です。どのように受け止めてもらえたかしら、との思いを抱えて帰鎌しましたが、後日届いたアンケート集と大子連ニュースを拝読し、何とか無事に責任を果たせたようでほっとしました。

(阿曾)

第26回 会員総会報告 (1月28日(日) 10時~12時 於:中央図書館多目的室)

◇出席者 15名・委任状 37名 合計 52名 (前年末会員 104名*総会成立要件:会則 13により、会員 5分の1以上)



第26回会員総会は、鎌倉市中央図書館栗原館長にご挨拶頂き、開会しました。

2023年度の出来事としては、2015年からの課題であった旧図書館が3月「放課後かまくらっ子おなり」として開館されたことが先ずあげられます。新庁舎等整備基本計画案、市庁舎現在地利活用基本構想案など庁舎が複合化されることに関しても、年間を通じ多くの時間を割いて議論が交わされました。新庁舎の中には深沢図書館、現庁舎跡地に整備する複合施設の中に中央図書館が拠点図書館(?)として組み込まれることが予定されていますが、多くの問題点が見受けられるためです。これらの問題について多彩な講師の方々をお招きして連続講演会、勉強会、見学会など多数回持ちました。会員以外の方も含め多くの方々のご参加をいただき実りある1年でした。

総会での決議事項として今年度の重点項目は

- ① 市庁舎移転に伴うこれからを考える活動
- ② 司書採用の継続の見守りと図書館司書の専門性を幅広く理解してもらうための活動
- ③ 学校図書館司書についての現状を把握し、理解してもらうための活動
- ④ ファンタスティック☆ライブラリーへの企画・参加 です。

総会後半のフリートークでは、図書館のバリアフリーに関して、活発な意見が交わされました。

会計監査の吉田様をご高齢のため退任されました。吉田様長い間ととの会を支えて頂き有難うございました。今年度は山下様、津村様に監査をお願いします。今年の代表は引き続き水岡、副代表は和田。世話人は阿曾、阿部、黒瀬、齊木、杉崎、水岡、和田の7名です。(50音順) (阿部)

第25回かまくら市民活動フェスティバル「いつものコトをもしものトキに」参加報告

(12月2日(土)・3日(日) 於:鎌倉生涯学習センター)

今年もNPOフェスティバルが行われ、関東大震災100年の節目ということで、「防災」をテーマに様々な催しや展示がありました。今回は、2日間学習センターのみでの開催でしたが、その分多くの方が一堂に会し、充実したフェスティバルであったと思います。

TOTOMOでは「鎌倉市の図書館計画に関するパネル」と「間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会による関東大震災関連のパネル」の展示、おはなしひろせんによるおはなし会と絵本でかるたを行いました。また、NPOセンター初めての企画であるブックカフェには、TOTOMOメンバー7名が参加して、本について語り合い人も本も新たな出会いがありました。ここでの出会いや交わした情報をこれからの活動に役立てたいと思います。(杉崎)

西鎌倉ぼっけおはなし会報告 (3月1日(金) 10時~11時 於:鎌倉山集会所)

子育てサロン西鎌倉ぼっけで今年度2回目のおはなし会を行いました。鎌倉山集会所でのおはなし会は初めて。ここは、ログハウス風の素敵な建物で、床暖房が入っているので小さい子どもたちにも安心です。集まったのは8ヶ月から2才10か月までのお子さんとお母さん8組。春を感じる絵本や手遊びを子どもたちと一緒に楽しみました。おはなしひろせんから、石原・福田・星・杉崎が参加しました。(杉崎)

☆プログラム☆

手遊び「はじまるよ」

絵本 『はるのひるねうた』松野正子作 降矢なな絵 福音館書店

絵本 『わにわにのおおけが』小風さち作 山口マオ絵 福音館書店

紙芝居 『ぶるるんぶっぴー』にへいたもつ作 いのうえちひろ絵 教育画劇

紙芝居 『きょうのぼんごはんなあーに?』やべみつのり作 童心社

絵本 『とっくん』駒形克己作 福音館書店

大型絵本 『びょーん』まつおかたつひで作 福音館書店

絵本 『ぼうしとったら』tupera tupera作 学研プラス

手遊び「たんたんたんぼぼ」

ボラ協交流会は大賑わい

(2月15日 於:福祉センター)

2月15日(木)、ボランティア連絡協議会交流会を開催しました。広い第1・2会議室が使えることになり、それに加えて第3会議室と福祉団体活動室も使用して、活動発表、福祉作業所等によるパンなどの販売、ボラ協ミニバザーなど多彩な催しとなりました。

活動発表は3つ。玉縄ハーモニカクラブによる演奏と Nami-nications (ナミニケーションズ) の映像を交えての活動紹介、そして TOTOMO おはなしひこうせんによるおはなし会でした。久しぶりに珈琲野郎さんのコーヒーマービスで芳しい香りに包まれながらの発表となりました。

今回のおはなし会は「かまくら布絵本グループはこべ」の作品を紹介しながらのものでした。『しろくまちゃんのほっとけーき』の絵本を読む傍らで布絵本も広げて見てもらったり、紙芝居『おおきくおおきくおおきなあれ』を演じた後で布絵本版でさらに楽しむという趣向です。布絵本はこれまでも新年会などで



布絵を見ながら春の歌を歌いましょう

展示してきましたが、おはなしと並行することでより魅力が伝わり、「はこべ」メンバーの方々も、とても喜んでくださいました。参加された方々は発表者に質問したり、互いに交流を深めたり、お買い物を楽しんだりしていました。

3月14日(木)の役員会では、社協職員さんから、能登半島地震被災地でのボランティア活動の報告を聞きました。実際の活動を写真を交えて何うと、ニュースだけではわからないことが見えてきました。(黒瀬)

協働事業推進部会報告

(3月11日 於:大路ビル3F)

来年度活動方針を話し合いました。以前から、登録団体同士で交流して活動のヒントを得たり連携につなげたいと考えてきましたが、来年度は年に4回程度の交流会を企画します。複数団体の活動の見学、体験を通じて交流しようという試みです。このほか、「鎌人いち場」にも参加して、NPO 団体の活動を広めることになりました。

来年度の「つながる鎌倉エール事業」については、広報かまくら4月号に特集記事が掲載されるとのことで、ぜひご覧ください。(黒瀬)

TOTOMO活動日誌 (1/18~3/27)

1/18	おはなしひこうせん勉強会	2/29	図書館協議会傍聴
1/18	ファンタスティック☆ライブラリー-実行委員会出席	3/1	鎌倉市子ども読書活動推進計画に関する連絡会議傍聴
1/26	読書会	3/1	子育てサロン西鎌倉ぽっけおはなし会
1/28	会員総会	3/4	第二小学校と第二中学校交流会見学
1/28	永野征男氏講演会	3/7	Unileaf お手伝い
2/4~5	ファンタスティック☆ライブラリー	3/7	ファンタスティック☆ライブラリー-実行委員会出席
2/7	間島弟彦・間島愛子夫妻旌徳の会	3/11	協働事業推進部会出席
2/8	Unileaf お手伝い	3/14	ボランティア連絡協議会役員会出席
2/8	ボランティア連絡協議会役員会出席	3/21	おはなしひこうせん勉強会
2/13	大阪府子ども文庫連絡会での講演	3/22	読書会
2/15	ボランティア連絡協議会交流会参加		ロビー活動 随時
2/17	「発掘 大発見！」ふじづかの昔を知ろう出席		定例会 9回 (1/24, 31, 2/7, 14, 21, 28, 3/6, 13, 27)

TOTOMO COMING NEXT ! 事務局からのお知らせ



桜の便りが届き始め、いよいよ春本番。暖くなったら、公園やカフェに出かけての読書もいいですね。大船フラワーセンターは玉縄図書館から徒歩5分です。

おはなしひこうせん勉強会

日 時：4月18日(木) 10時～12時 場 所：福祉センター
テーマ：爬虫類・両生類 大人は苦手な人も多いけど、案外子どもたちは好きなもの。
爬虫類には、カメ・ヘビ・トカゲ・ワニ・恐竜など、両生類には、カエル・イモリ・オオサンショウウオなどがあります。おすすめの絵本や紙芝居をご紹介します。
お問い合わせは、黒瀬 (TEL/FAX 0467-22-8545) まで。

読 書 会

日 時：5月24日(金) 11時～12時半 場 所：NPOセンター鎌倉
テーマ本：町田その子著『52ヘルツのクジラたち』(中公文庫)、
有吉佐和子著『青い壺』(文春文庫)です。皆様のご参加お待ちしております。
お問い合わせは、杉崎 (TEL/FAX 0467-41-4956) まで。

間島弟彦・間島愛子夫妻 旌徳の会

日 時：4月3日(水) 13時～16時半 場 所：NPOセンター鎌倉
お問い合わせは、鈴木 (TEL 090-4728-5242) まで。

松坡文庫研究会 第8回講演会 「大橋康邦と田辺松坡」

講 師：袴田潤一氏(松坡文庫研究会代表)
日 時：4月14日(日) 14時～16時 場 所：鎌倉市中央図書館3階多目的室
定 員：30名(申込み順)
申込み・お問い合わせは、鎌倉市中央図書館 (TEL 0467-25-2611) まで。

★図書館友の会全国連絡会

- ・公共図書館の職員状況に関する全国調査と5月末実施予定の総会・交流会・要請活動にむけた準備が進んでいます。
- ・図友連神奈川交流会が、4月25日13時半～、ひらつか市民活動センターで行われます。
お問い合わせは、阿曾 (TEL/FAX: 0467-45-5731) まで。

編集後記 * * * * *

☆ファンタスティック☆ライブラリーが無事終わりほっとしています。報告はいかがでしたか。「今年はいっしょにやってみよう！」と思われる方は、事務局までご連絡ください。(A.S)
☆ファンタスティック☆ライブラリーは2月の二日間、中央図書館で開催されました。どの催しも素晴らしいもので、各参加団体(TOTOMOを含め!)の企画への想いと準備にかけた時間を考えると、2日間で終わってしまうことは少々残念でした。その後の地域館での巡回展示を多くの方が見てくださっていたら嬉しいのですが。(M.S)



題字・巻末カット：小島寅雄 2024年3月27日発行
図書館とともだち・鎌倉(代表：水岡やす子) 編集：阿曾・黒瀬・杉崎・斉木
事務局：〒248-0005 鎌倉市雪ノ下1-14-34(黒瀬) TEL/FAX 0467-22-8545
HP：<http://totomo.sakura.ne.jp> E-mail：toshokantomodachi@gmail.com

